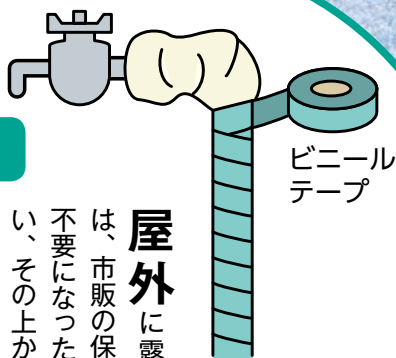


凍結にご注意を！

気温がマイナス4度以下になると、水道管の水が凍って出なくなったり、水道管が破損したりする恐れがあります。特に、低温注意報が発令されると可能性が高くなります。



凍結の予防策をご紹介します

屋外に露出した水道管は、市販の保温材で包むか、不要になったタオルや布で覆い、その上からビニールテープで巻いてください。

屋外型給湯器については、各メーカーにより凍結の予防策が異なりますので、事前に取扱説明書をご確認ください。

水道管が凍結破損した!! ときは…

まずは、水道メーター付近の止水栓（バルブ）を閉め、水を止めてください。前もって、メーターボックスの位置を確認しておきましょう。修理完了までの間は、水道を使用する際のみ止水栓（バルブ）を開けるようにしてください。

詳しくは水道技術課（☎740-1264）へ。
また、凍結破損による漏水で水道使用量が著しく増加した場合、一定の条件などを満たせば、上下水道料金の漏水減免が適用できる場合があります。詳しくは営業課（☎740-1262）へ。

水道水が凍って出ない!! ときは…

日中気温が上昇してくれば、水は出るようになりますが、どうしても水が必要な場合は、じゃ口を開け、水道管にタオルを巻いて、その上からぬるま湯を全体にゆつくりとかけて溶かしてください。この場合、熱湯をかけると水道管が破裂する恐れがありますので、注意してください。

冬の「かくれ脱水」って知っていますか

冬は空気が乾いているため、皮膚や粘膜などから知らず知らずのうちに水分が失われます。また、夏場とは違い汗もかかないため、水分補給をするという意識も低くなりがちです。こまめな水分補給で、からだの中の潤いを保ち、健康なからだづくりを心がけましょう。

水分補給を
しましょう

たとえば…

- 起床後
- 就寝前
- 入浴の前後
など

